

そよ風

第3号

今治市立立花中学校

『こころ』はだれにも見えないけれど、

『こころづかい』は見える

『こころ』はだれにも見えないけれど、『こころづかい』は見える

『思い』は見えないけれど、『思いやり』はだれにでも見える」

この詩を覚えている人も、多いと思います。2011(平成23)年の3月11日に発生した東日本大震災では、地震や津波などによって東日本の広い地域にとっても大きな被害が広がりました。そのとき、テレビでは、被害を受けた人々のことを考えて、テレビ番組の間に入るコマーシャルを中止しました。そのため、そのコマーシャルの代わりに、ACジャパンという団体がつくった映像が繰り返し流されました。

このACジャパンという団体は、お金儲けを目的とするのではなく、広告を通して住みよい社会づくりを進めようと、全国のたくさんの会社がお金を出し合ってつくられた団体なのだそうです。

今回紹介したこの詩と合わせて流された映像では、電車の中で座席に座っていた男子学生が、電車に乗ってきたおなかの大きな女性に席を譲ろうかどうか迷う場面があり、結局、違う席に座っていた若い女性が席を譲りました。そして、その次の場面では、長い石の階段をたいへんそうにあがっていくおばあさんを見たその男子学生が、一度通り過ぎた後に戻ってきて、そのおばあさんに手を貸す姿がありました。

実は、この詩は、埼玉出身の詩人・宮澤章二さんという方がつくった詩「行為の意味」をもとにつくられたものだそうです。この詩の中で宮澤さんは、こころづかいや思いやりが見える理由を「人に対する積極的な行為だから」と言っています。

この詩はこんなふうには結ばれています。

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
<心>も<思い>も初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ



電車の中で席を譲れなかったあの男子学生のように、たとえ思いやりの心や気持ちをもっていたとしても、それを行動として行わなければ、そのような思いや気持ちをもっているとは誰も思いません。反対に、優しく温かな思いやりのある行動や心遣いは、誰にでもすぐに分かります。ですから、人を思いやるその優しい心や気持ちを勇気をもって積極的に行動として表すことが大切なのです。そして、そのようにふるまうことが、人としてとても大切な生き方でもあります。お互いに思いやりの気持ちにあふれた社会をつくり出すためにも、私たち一人一人が、思いやりの心や気持ちを積極的に行動として表すことが大切だと思います。宮澤章二さんの「行為の意味」全文を紹介します。

行為の意味

あなたの「こころ」はどんな形ですか
と、ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも「こころ」は見えない
けれど、ほんとうに見えないのであろうか

確かに「こころ」はだれにも見えない
けれど「こころづかい」は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えない
けれど「思いやり」はだれにでも見える
それも人の対する積極的な行為なのだから

あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為になるとき
「心」も「思い」も初めて美しく生きる
それは、人が人として生きることだ

宮澤章二「行為の意味 青春前期のきみたちに」ごま書房新社より

